

2024年7月30日作成 Ver.5

《情報公開文書》

臨床病期と病理学的病期が乖離した胃癌症例における臨床病理学的特徴の検討

研究の概要

【背景】遠隔転移を伴わない胃癌に対しては、リンパ節郭清を伴う胃切除が治癒を得るための最良の治療法です。胃癌の術前は内視鏡的所見やCT所見から、TNM分類を判断し、臨床的Stageを決定後、治療方針や術式を決定します。胃癌根治切除後は病理学的診断を行い、病理学的なTNM分類とStageが決定します。この臨床的Stageと病理学的Stageはしばしば乖離することがあります。

【目的】本研究の目的は、臨床的Stageと病理学的Stageが乖離した胃癌の症例を後方視的に検討し、臨床病理学的特徴を解析することです。

【意義】より正確な臨床診断を行う一助となりえます。

【方法】臨床的Stageと病理学的Stageが乖離した胃癌の症例を後方視的に検討し、臨床病理学的特徴を比較、解析します。また、臨床的Stageと病理学的Stageが異なる症例のリスク因子を検討、解析します。

対象となる患者さん

以下の条件（基準）を満たす患者さんが対象になります。

- ① 胃癌と診断された患者さん
- ② 臨床病期と病理学的病期が明確である患者さん
- ③ 系統的リンパ節郭清を伴う胃切除を行った患者さん
- ④ 2003年1月1日～2023年12月31日に長崎大学病院腫瘍外科（胃・食道外科）で手術を施行した患者さん

この他、あなたの治療歴や現在の病状、服薬中のお薬などを担当医師が確認し、研究への参加が可能かを総合的に判断します。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

1. 患者背景：性別、年齢
2. 手術因子：アプローチ（鏡視下手術／開腹手術）、切除術式（胃全摘術、幽門側胃切除術、噴門側胃切除術）、リンパ節郭清度、郭清リンパ節個数、術後合併症の有無/内容/Clavien-Dindo 分類
3. 腫瘍学的因子：深達度(T 因子)、リンパ節転移(N 因子)、遠隔転移(M 因子)、転移リンパ節番号、転帰
4. 再発の有無：胃癌診療ガイドラインと画像検査を元に再発の有無,再発日、再発部位を確認
5. 術後の経過、健康状態

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は 2024 年 8 月 8 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2029 年 6 月 30 日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学病院 腫瘍外科 氏名：西牟田 雅人 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095 (819) 7304
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 腫瘍外科 西牟田雅人

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）7304 FAX 095（819）7306

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）